

取扱説明書

この度は、『Groove Buffer』をお選び頂き、誠にありがとうございます。

★特徴

K&R『Groove Buffer』の特徴は、インピーダンス変換器としての役割はもちろんの事ですが、最大の特徴は“音の一体感”を創り上げる働きにあります。

“音の一体感”とは何でしょうか。それは、良質な楽器を弾いた時に感じられる、弦、ネック、ボディが協調し合いながら鳴って奏でる、音楽的でまとまりのあるサウンドを指します。

『Groove Buffer』には2つの使用方法があります。

ひとつ目は、エフェクターボードの初段に『Groove Buffer』を配置する方法です。ソリッドな楽器の暴れを整え、まとまりのある艶やかなサウンドとなります。特に歪み系エフェクターの前においた時の極め細かいサウンドは特筆するべきところです。もう一つの使い方は、エフェクターボードの最終段に配置する使い方です。様々なエフェクターによって発生した音信号のアンバランス感を整え、ローノイズにアンプへ送ることができます。無機的になりがちなデジタル機器の後に配置して、有機的なサウンドに仕上げてください。

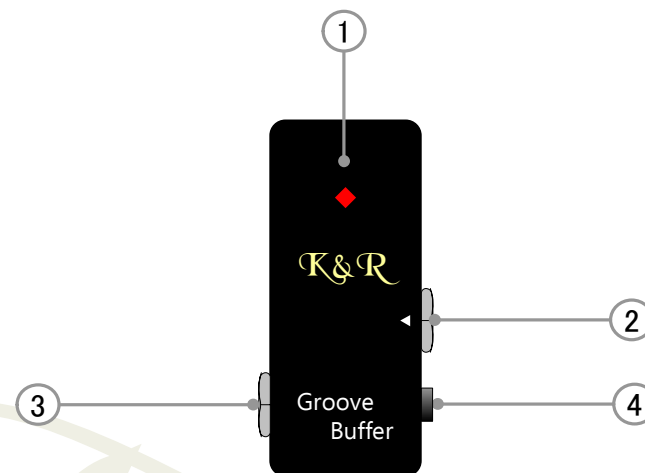
『Groove Buffer』の心臓部は、Groove Compで高くご評価頂いているClass-A ディスクリート回路を搭載しております。これは、ICを使用せず個別部品で作られた回路で、周波数レンジは何と1Hz～200kHz(±3dB)までの広帯域を確保し、更に残留ノイズ 22μVrms(D-Audio)とローノイズであり、昨今のハイレゾリューションなレコーディングにもパーフェクトに対応しています。内部電圧コンバーター回路により、最大入力許容電圧が2.6Vrms になり10.5dBmという広いヘッドルームを実現。パッシブPUでも余裕の対応です。ですから、D.I.やレコーディングミキサーの直前に配置してのご使用もおススメ致します。

K&R『Groove Buffer』で奏でる新しい概念のサウンドをご堪能下さい。

各部の名称とその働き

使い方は至ってシンプルです。

インプット、アウトプットにプラグを差し込むだけです。



① インジケータ

エフェクトのON/OFFの確認を行います。

点灯している時がエフェクトON、消灯している時がバイパスです。

② インプットジャック

入力です。ギター等の信号を標準プラグで接続してください。なお、インプットジャックは、電源のON/OFFも兼ねていますので、使用しない時はプラグを抜いてください。

③ アウトプットジャック

出力です。標準ジャックでアンプ、又はエフェクターの入力へ繋いでください。

④ DCジャック

外部電源からの供給端子です。電源スイッチはありませんので、入力プラグを差し込まなくてもON状態になります。

ACアダプターの使用でも、ハムノイズが出ないように回路にて対策しております。又、必ずセンターマイナス9Vのものをご使用ください。

使い方

★ギター、ベース等の暴れを整えるセッティング



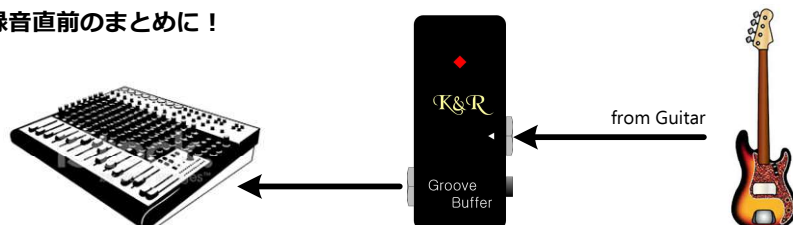
★エフェクターの暴れを整えるセッティング



★上記両方の機能を持たせたセッティング



★録音直前のまとめに！



主な仕様

- ・電源 パワーサプライ、ACアダプター (9 V~15 V)
- ・消費電流 45 mA
- ・入力インピーダンス 2 M Ω
- ・出力インピーダンス 1 k Ω
- ・周波数特性 0.5 Hz~200 kHz(± 3 dB)
- ・最大許容入力電圧 2.6 Vrms (ヘッドルーム換算 10.5 dBm)
- ・残留ノイズ 22u Vrms
- ・サイズ 94.5 mm(D) 45 mm(W) 34 mm(H)

K&R 保証書

ご芳名	
ご住所	
取扱店	
保証期間 1 年	お買い上げ日
本保証書は、本記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。 保証期間中に故障が発生した場合には製品と本書をご持参の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。お買い上げ販売店に修理依頼できない場合は『K&R』までお問い合わせください。	
http://kandr.biz e-mail piisuke@kandr.biz	

